

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	安全・安心な魅力ある木島平エコヴィレッジ・ゼロカーボン推進事業
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人太陽と水と緑のプロジェクト 飯山市飯山八坊塚 11492-114 長野事務所
事業区分	環境保全・景観に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,247,769 円 (うち支援金 : 1,726,000 円)

事業内容

脱炭素社会を主体的に担う意識づくりと人材を育成のため、道の駅にラミネーターを設置し、村民らがソーラーパネルを作成し、教え合える地域づくりに取り組み、太陽光発電への村民の理解と関心が深まった。また、5w又は10wのソーラーパネルとLEDライトのセットを50セット貸与し、ものづくり大学生の協力をえて、よりよい方法を研究してもらい、村民の要望を聞くなどして協働で活用事例を工夫するなど、村内全域で小太陽光発電の利用経験者を増やした。超小水力発電は、中町地区の住民と協働で設置し、市之割区の青年が家族の理解を得て、自宅前の水路に灯りを点灯した。木島平中学校では、令和4年度の奨励研究計画に「自転車のハブダイナモを用いた超小水力発電の制作を軸にしたカリキュラムの開発」を研究課題として応募するまでになった。



【パネルの作成】

【目標・ねらい】

- ① 脱炭素社会を担う人材の育成
- ② 再生可能エネルギーによる点灯
- ③ 再生可能エネルギーによる充電
- ④ 多様な形の安全・安心な地域づくり

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①木島平村が策定した地球温暖化対策実行計画に準じて、村と協働で事業を実施する基盤が作られた。
- ②二酸化炭素の排出量を削減する独立型太陽光発電と超小水力発電の発電量が、令和2年度比で、それぞれ、650%、40%増大した。
- ③全電源が喪失した時に、再生可能エネルギーよって、緊急時に携帯・スマホに充電し緊急連絡できる台数が令和2年度比で100%増大した。
- ④木島平村が脱炭素社会へ積極的に取り組み、全電源喪失に多様な形で対応できる地域づくりが前進した。

※自己評価【A】

【理由】村のレベルで、ソーラーパネルを、村民自身が作成し教える取り組みは、全国でも例がない。当団体の調べでは、世界でもインドとアフリカのチャドの例しかなく、脱炭素社会を積極的に推進する村として高く評価される。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

過去2年間の事業を通して自然エネルギーへの村民の関心と理解も深まった。今後は、この成果を村が策定した地球温暖化対策実行計画に準じた協働の取組とし、本事業の効果を、安全・安心な魅力ある木島平エコヴィレッジの推進とゼロカーボンの推進を目に見える形で進める。

具体的には、1) 道の駅に設置されたラミネーターを活用する具体例を示し、2) 小太陽光発電と超小水力発電に取り組む若い世代を育て、3) 積雪地域で、各家庭が自分でできる形で太陽光発電を普及させる道筋を示し、4) 全電源喪失という災害が、いつ起こったとしても、自然エネルギーを多様な形で活用している村であると村民の誰もが実感できるようにしていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある